

2018年3月30日

～ モバイルデバイスを活用した多言語翻訳サービスの開発を支援 ～
QB 第一号ファンド 「ジャクール株式会社」 への出資について

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、「QB 第一号ファンド『ジャクール株式会社』への出資について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2018年3月30日

～ モバイルデバイスを活用した多言語翻訳サービスの開発を支援 ～ QB 第一号ファンド 「ジャクール株式会社」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、11 件目の投資案件となる「ジャクール株式会社（代表取締役 後藤 玄利）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当社は、九州大学起業部でメンターを務める後藤 玄利氏が設立した企業で、モバイルデバイス（スマートフォン、タブレット等）により専用の QR コードを読み取ることで、外国人旅行者が求める情報を各国の言語に翻訳した形で提供する多言語翻訳サービスの開発を行うベンチャー企業です。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会社名	ジャクール株式会社
本社住所	東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号 新有楽町ビル 11 階
代表者	後藤 玄利
設立	2016 年 10 月
事業内容	モバイルデバイスを活用した多言語翻訳サービスの開発
資金使途	多言語翻訳サービスの開発資金

2. 出資の理由

本件は、モバイルデバイスを活用した多言語翻訳サービスの開発に取り組む当社下記の点を評価し、出資を行いました。

(1) サービスの必要性

日本国内では、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックの開催を控えており、外国人旅行者数の増加によるインバウンドビジネスの市場拡大が期待されるなか、当社の多言語翻訳サービスが、今後課題となる外国人旅行者の言葉の壁の解消へと繋がり、観光産業等の発展への寄与が期待されること。

(2) サービスの成長性

当社が提供する多言語翻訳サービスは、導入時にコストがかからないため導入障壁が低く、導入店舗の急速な増加が見込まれること。

(3) 地域経済の活性化

大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以上

参 考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

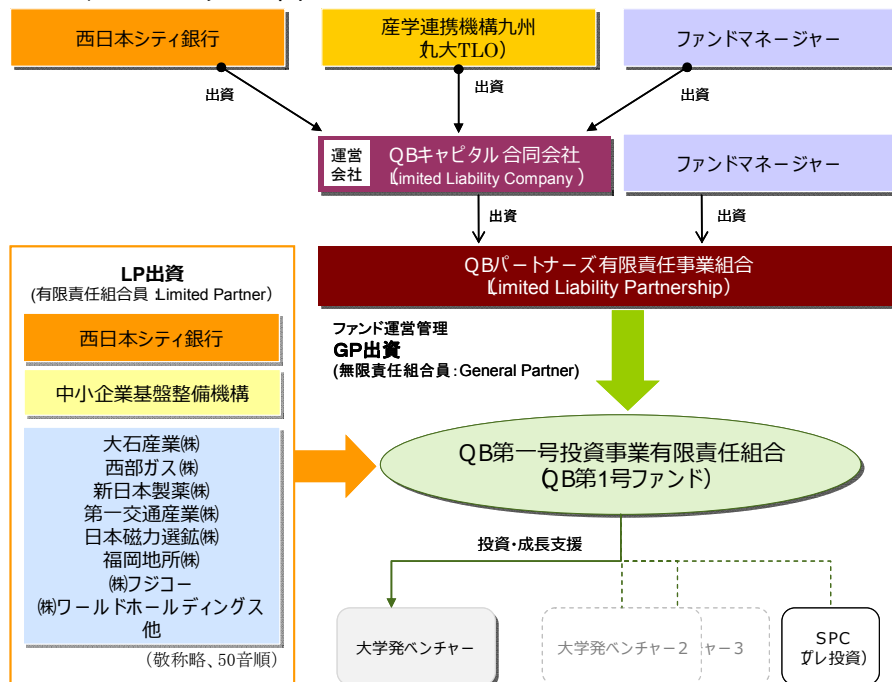
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP: General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP: Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741